

### ■ ダイヤモンドのように大切な存在

ダイヤモンドは高価で貴重なものとして知られていますが、私達の身近にある炭やグラファイト（鉛筆の芯、オープンヤストーブ等、様々なものに利用される）と同じ炭素で出来ています。元の原子が同じであっても、その配列が違うだけで全く違うものになるのです。

もともと整っていたものが、少しずれるだけで価値がなくなってしまう。これは聖書の教えでもあります。聖書の中に「信仰には徳を」という言葉があります。この「徳」というのは私達に与えられている優越性です。それは、このダイヤモンドと同じです。

私達にあった素晴らしい卓越性は、あなたがあなたであるという素晴らしさでした。何かをそれを壊してしまったことで、本来の姿ではないものになってしまうのです。しかし、神様は「すべてのことを働かせて益とする」という聖書の言葉にあるように、ずれてしまった私達を本来の姿に戻そうとされます。結婚する時には、なぜダイヤモンドの指輪を贈るのでしょうか？指輪の台座がダイヤモンドという素晴らしい石をしっかりと支えているのは、貴方をしっかりと支えていきますというメッセージでもあるように思えます。同じように、私達の人生は誰によって支えられるべきでしょうか。それはイエスキリストです。もし私達がダイヤモンドだとして、その素晴らしく作られた本来の姿を保とうとするのなら、土台としてイエスキリストが必要です。聖書のすべては、このダイヤモンドのように神様が作られた被造物を通して私達の関係を伝えています。

### ■ 本来の姿に戻る

神様によって与えられた卓越性を信じる時に、私達に備わった徳が表されていきます。聖書はそれを、ダイヤモンドではなく「金」という言葉で表現しています。金は精練するほど純度が高まり、不純物のないものになります。その貴重な存在が金であり、あなただと言われているのです。

私達は沢山の不純物を抱えています。神様に会うことで本来の姿に戻っていきます。周りの人達と、良い部分も悪い部分も見せ合いながら少しずつ不純物を取り除き、本来の姿を取り戻していきます。

ある夫婦が、心理学者に質問をされます。この夫婦は子育てに悩んでいて「うちの子はいつも失敗ばかりでうまくいかない」と嘆いていました。この心理学者は、夫婦に本を渡して「これはお父さんのストーリー（人生）が書かれている本です。この消しゴムで自由に消していいと言ったらどこを消しますか？」と尋ねます。妻は急いで子どもの失敗を消そうとしますが、夫は気付いて言います。「消してはいけない。自分達もこんな風に失敗してきたんだから。なんでそれを忘れていたんだろうか」自分の人生を振り返ってみた時に、失敗や痛みがあったから今があることに気付いたのです。

同じような研究がアメリカでも行われました。クリスチャンを対象に、ある大きな教会が教会員に「あなたが人生で神様によって取り扱われ、恵みを受けたのはどんな時ですか？」という質問をしました。結果は、礼拝や信徒の交わりと答えた人は1パーセントほどしかなく、多くの方は「苦難の時に神様が恵みを与えてくれた」と答えました。

私達は人生を歩む中で苦難の道を通ります。聖書に「苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。私はそれでああなたのおきてを学びました」という言葉があります。失敗を消すことを選ばなかった夫婦のように、大切なのはその人が苦しい時にそれを乗り越えられるよう後ろから支えることです。その人

が逃げ出しそうな時や諦めてしまいそうな時に信じて支えようとする、その在り方は教会と同じです。教会は、その人が自分の本当の姿を見つけるまで励まし、時に戒めて共に歩むためにあるのです。

### ■ 【神様と共に歩む人生

「人の歩みは主によって確かにされる。主はその人の道を喜ばれる。その人は倒れてもまっさかさまに倒されはしない。主がその手を支えておられるからだ」（詩編37：23～24）

もし私達が神様と共に歩むなら、私達の人生が後に駄目になることはありません。しかし、悪魔が与えようとする人生は反対で、今だけ良くて後が悪くなる人生です。神様が与えようとする人生は、今は葛藤があっても後が平安である人生なのです。

聖書には素晴らしい人物が多く登場しますが、この人達は失敗者でもありました。そんな失敗の人生に「あなたは失敗者ではない」と伝えたのがイエスキリストです。この方は私達の中にあるダイヤモンドや金のような本来の姿を見ておられます。

私達は、この世の富や物質に目を向けてしまいがちです。それを得た結果は、本当の輝きを失った不純物だらけの姿です。聖書はそれを罪だと言っています。その罪を取り去るためにイエスキリストは十字架にかかられました。それは、私達の不純物を取り去り、本来の姿に戻そうとする愛によってなされたことです。

### ■ 【私達と共にいて生きておられる神様

信じること・徳であること・知恵があること・柔和であること・心が平安であること・自分を自制すること・喜びに満ちていること・寛容であること・親切であること・私達の内側に善意があること。これらのことを行う源は、神様と共にいるということです。あなたは今、神様と共にいることを選んでいるのでしょうか？神様が私達の中で小さくされ、その働きが狭められることがないようにしなければなりません。私達の中心に、自分ではなく神様を迎えることができるようにしましょう。

### さいごに…

この世の富や物質といった間違っただけのものに目を向けるのではなく、本質に目が向いた時に神様が用意してくださっている素晴らしい姿が表されます。時に苦難の道を通ることがあっても、それを神様は人生を切り開くための祝福に変えてくださいます。私達の人生が光り輝くものとなるために、ダイヤモンドを支える台座のように神様が支えて下さっているのです。

私達の支えるべきものは何でしょうか？私達の周りにも、本来の姿からずれてしまった宝物（ダイヤモンド）があるはずですが、痛みの中にいるその人を、神様は私達を通して磨いて輝かそうとされています。自分には出来ないと思う弱い心ごと神様は支えて下さいます。信じて自分が支えるべきものの為に祈りましょう。